

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人いずみ「スマイル」

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

学校夏季休暇期間の「スマイル」利用者の障害児を対象とした社会見学実施事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

利用者である障害児にとって、夏休み期間の社会見学は一大イベントであると共に、社会見学に向けて仲間と一緒に準備を行ったり、外出先での団体行動のあり方を学ぶ機会となり、心の成長に大きな効果を発揮します。また、社会参加の場面を作っていくことにより、視野も大幅に広がることにつながります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- 事前準備 「スマイル」活動中に社会見学の場所の相談や事前学習、役割分担など、参加児童と一緒に話し合いを行い、準備をしていく。
- 社会見学実施 2グループに分かれ、8月に実施、各1日間民間のバス会社よりリフト付き大型バスを借用、目的地で施設見学、昼食、レクリエーションなどを実施。
- 体験発表会 社会見学実施後、写真やビデオを使い、児童が中心となり発表会を行う。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今年度初めて利用児童一人一人に係分担を行った。係ごとに様々な事前準備を重ねていくことにより、子ども達の社会見学に対する理解を深めていくことができ、しっかり見通しを持った状態で当日を迎えることができていた。また、係の仕事があることで、適度な緊張感を持って社会見学に参加できていて、上手く役割をこなせた事に充実感を得ている子どもが多く、確かな成長につながっていると感じています。

社会見学実施後の体験発表会では、スライドショー用の写真や発表文を考えることで子ども自身があらためて活動を振り返ることができ、来年への期待感につながっていると感じました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

車イスではなかなか体験できない『ランチクルーズ』ということで、利用児童、保護者ともに期待感を膨らませて当日を迎えました。当日は朝から大盛り上がり、一体感のある中で1日中楽しい雰囲気でも過ごせました。また、ボランティアの協力や、見学施設側の職員が良い対応してくれたことが、今回の社会見学の成功につながっていると感じています。

後日、保護者から「車イスでランチクルーズに行けると思ってたかった」「車イスでも行ける事が分かったので、家族でも行ってみました」等の意見を頂きました。社会見学を行うことで、利用児童の私生活における活動の広がりにもつながるため、改めて実施することの大切さを確認できました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり

《社会見学当日》





《体験発表会》

